

金賞 西田秀己君

釧路工業高等専門学校建築学科

線路のところ（小樽市旧手宮線跡地北部における新しい観光と生活スタイルの提案）

小樽手宮における、地元アーティストのための活動の場と観光施設を組み合わせ、意欲的な複合施設案である。様々な施設に特徴ある形態を与え、それらを緑で覆われたパーゴラによって緩やかに連結させることで、複合施設としての一体感と、光に満ちた多様な場所をつくることに成功している。今後の展開として、個々の施設の独立性を弱め、機能の一部を可能な限りパーゴラシステムに融解させることで、より活動的な場所をつくるとともに、利用者相互の交流を促す仕組みについて考えてほしい。

（文責：加藤 誠君）

